

## 所属選手

(2020年1月1日現在)



## 車いすバスケットボールとは

### ○車いすバスケットボールの主なルール

車いすバスケットボールはコートの広さやゴールの高さなど一般的のバスケットボールと同じです。ルールもほとんど同じで、ボールを持った状態で3回以上車いすをこぐと反則となります。ドリブルを止めて再度ドリブルを行ってはいけない「ダブルドリブル」の反則はありません。

### ○クラス分けとは

選手が競技用車いすに乗った状態での身体機能に応じて、選手を1.0-4.5点までのクラス（持ち点）に分けます。例えば、多くの1.0点選手は意識して動かすことができるのが胸部以上であるためプレーできる範囲が狭く、4.5点選手は体幹のバランスが良いため前後左右にダイナミックにプレーできます。そして、各選手の持ち点の合計を5人で14点以下になるようにチームを編成しなくてはいけません。これにより様々な障害のある選手が1つのコートでプレーすることができ、試合に出場する機会の均等化を図っています。

### ○女子選手・健常者選手の参加

日本車いすバスケットボール連盟が主催する全ての大会において、女子選手と健常者選手の出場も可能になっています。女子選手は1名につきチームの合計の持ち点から1.5点を減点します。また、健常者選手の持ち点は4.5点となり、女子選手・健常者選手はそれぞれ2名まで同時にプレーが可能になります。

### ○競技用車いす

競技用車いすは選手それぞれの障害に合わせて採寸・設計をするオーダーメイドのものになります。車輪がハの字に開いた車いすの形状のため回転性に優れ、スピーディーかつ正確にコート上を駆け回ることができます。同時に相手と接触した際に手を挟み難く、バンバーもあることでよりアグレッシブなプレーを可能にさせます。



## チームビジョン

### ■自己成長 (MAXIMIZE YOUR POTENTIAL)

チームに関わる全ての人が、個人の可能性を最大限に引出す為に、一生懸命、楽しくチーム全体で努力し、自己成長できるよう目指して行くこと

### ■チームワーク

チーム全員で決めた目標に向かって、お互いが理解しあい信じあい、ある時は自己犠牲を払って、挑戦していくこと

### ■社会貢献

車いすバスケットボールを通じて、障害の有無を超えた相互理解を促すこと

## チームロゴ



- 美しさ 1枚1枚の花びらが集まって1つの美しい花を咲かせる様に、選手・スタッフ一人1人が繋ぐ固いチームワークで、1つの美しいチームを作る。
- 逞しさ どんな過酷な環境にも耐えて咲き誇る花の様に、輝く選手たちを象徴する。
- 香り 良い香りに人が惹きつけられる様に、人々を引き付け書き込みながら、1つの目標を目指す。
- 花言葉 言い訳をしない

## スポンサー

